

広報



あ ま
海 士

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール: info@town.amashimane.jp

平成17年

1

No. 389



町の人口世帯数

総人口 2,514人(-13)
男 1,183人(-2)
女 1,331人(-11)
世帯数 1,086世帯(-4)
住民基本台帳(12月末現在)
()内は10月末との比較

謹賀新年

今年も皆様にとって幸せ多き年でありますように!

～新産業へ向かって飛躍の年～

平成17年がスタートしました。新しい町づくりが展開しようとしている今、地域の再生と自立への挑戦を住民の皆様と行政とが一丸となって希望溢れる元気なまちをめざしていきましょう!

主な内容

- 年頭所感他……………2～3
- 町の話……………4～9
- 平成15年度決算報告……………10～11
- 海士町職員給与・定員管理の公表他……………12～13
- 議会だより……………14～15
- 教育だより……………16～17
- 隠岐島前校だより他……………18～19
- 戸籍の窓……………20



年頭所感

「自立」への挑戦と覚悟

海士町長 山内 道雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、国の2005年度予算の政府案は、命綱の地方交付税など地方財政源は一応確保されましたが、今後抑制圧力は弱まる気配はありません。特に昨年の地方交付税の大幅な削減いわゆる「地財ショック」により、平成16年度から町財政は一変して緊急事態となりました。そこで一時凌ぎの行財政改革では、この状況を打開できないとの判断から、昨年2月に住民・議会・行政の代表が一緒になって「海士町自立促進プラン研究会」を発足させ、短期戦略(行財政改革)、中期戦略(人口増施策)、長期戦略(新産業施策)の研究成果を取りまとめ、政策課題に今日まで

着実に取り組んできました。

行財政改革は「先憂後楽」の信念で行政が率先して人件費削減に努め、また、議会や教育委員も呼応して、全国に例のない大幅なカットを実施してきたところがあります。

一方で少子高齢化と人口の減少、公共事業の削減や地場産業の衰退とあらゆる問題を抱え、島存続の危機に立たされていきますが、この離島のハルネイをアドバンテージに、町の生き残りをかけた地域おこしの取り組みが、この春から本格的に始動致します。豊かな海をはじめとする島の特産品をブランド化して旬の味を保った新たな加工技術で首都圏の消費者の心を捕らえる商品企画、観光誘致とも連携した販売戦略など、国の支援策を活用しながら、官民による協働出資、協働責任により

新しい第三セクターを2月末までに設立し、町が一丸となつて次の事業を展開します。

- 一、CAS事業部
- 農林水産物の高付加価値を進め、地産地消による内需拡大と首都圏へ発信します。
- 素材の細胞を生かしたCAS凍結システムの有効活用により出荷調整と競争力の高い商品を安定的に出荷します。
- 二、塩事業部
- 島ならではの製造方法の復活と伝承にこだわり、食育に興味と関心のある首都圏消費者との交流を軸とした販売展開をします。
- 島の伝統的加工調理に天然塩を活用し素材・堆肥にこだわり農産物づくりの普及と「海士らしい」食の提供する環境・風土を創ります。
- 三、梅塩辛事業部

- 産業振興を掲げ集落再生に立ち上がる地区に限定し、生産加工を委託します。

- 「梅の郷・崎村」から誕生する梅を中心に中村成子先生の指導で「地元梅・地元塩」を使って「蘇婆詞梅」のブランド化に努めます。

- 塩辛事業についても崎地区に続く「元気な集落」の出現を期待しつつ当面は特定の加工グループと提携・委託します。
- 集落発信の自慢の一品の商品化をめざします。

- キンニヤモニヤセンターの直営業務の一部を新三セクに取り込み、経営の合理化を図ります。

五、その他の事業展開について

- ① 潮風農業特区
- 建設会社参入で遊休農地を活性化し「島生まれ・島育ちの海士牛」のブランド化を推進します。
- 耕畜連携と貝殻・海藻を加えた島独自の堆肥づくりの研究と商品化で循環型社会の構築をめざします。

② 定住対策

- 空き家のリニューアルと「空き家バンク」制度を創設し、また、定住住宅を建設して、UITAの受入れを積極的に進めます。

③ すこやか子育て支援等

- 人口の島外流出や極端な少子化はまちの存続に関わる問題であり、厳しい財政事情にあつても子育て支援策を強化するものです。結婚祝金、出産祝金、妊娠・出産に係る交通費等の助成をして応援します。

新しい年も更に厳しさが予想されますが、「人づくり・モノづくり・健康づくり」に「海士らしさ」を追求し、「後戻りはできない、失敗は許されない、みんなでやるしかない」という覚悟と決意で職員と一丸となって、地域の再生と自立への限りなき挑戦を続けていきます。何卒本年も一層のご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝をご祈念して年頭のご挨拶と致します。



地域で見守る

教育長 榊原 信也

輝かしい新春を迎え謹んで
ご祝詞を申し上げます。

昨年十月、少子化対策として「海士町すこやか子育て支援に関する条例」が制定されました。このことは、本町の未来を子どもたちに託したいという強い願いの表れであります。しかしながら、奈良県で起こった児童誘拐の悲劇や各地で頻発する連れ去り事件という、児童生徒の登下校の安全が取り沙汰される異常な事態は、離島である私たちの地域では起こりえないだろうと願いつつも、その対策には地域の皆様方が改めて子どもは地域の宝であるという認識を持つて見守っていただくことが、不測の事態を回避できる最も有効な抑止力だろうと思います。

れた反面、子ども達の対人関係の弱さや体力面での衰えが指摘され、それは都会の子も田舎の子も同様だと憂慮されています。このような時代だからこそ、私たちはふるさと

の自然や文化を守りながら、次代を担う子どもたちをふるさとの自然や地域の中で、逞しく育てていかなければなりません。子どもたちの健やかな成長の環境作りは行政のみならず、学校、家庭、地域が一体となって成果が期待できるものであります。教委がふるさと教育として取り組んでいるアドベンチャーキャンプやチャレンジ土曜クラブ、子どもの居場所づくり等の諸事業を昨年も多くの皆様方のご指導、ご協力を賜りながら進めることができました。心から感謝申し上げます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、高度情報化社会の到来は私たちに恩恵を与えてく

末筆ながら、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

ます。

賞 賞
優 優
受 受

島のあしたは女性が開くをモットーに

中野 勝枝さん

12月4日島根県商工会連

合会主催の「しまね商工会女性部員の集い」島根県大会において、隠岐ブロック代表として中野勝枝さん(御波)が優秀賞を受賞されました。

この大会は、女性部活動と地域振興・まちづくりをテーマに県内6ブロックから発表が行われ、今回、中野さんは、『島のあしたは女性が開く』と題し、郷土民謡「キン

ニヤモニヤ」を活かしたPR活動や「海士町千本桜構想」にも積極的に参加し、また、それにちなみ「承久の千本桜」の作詞をする等の幅広い

取り組みが、「まちおこし」に繋がりがりつつあると発表されたものです。今回の発表を通して中野さんは、『聴衆の方々が瞳輝かせ共鳴して下さっていることを身体いっぱいを感じながら発表

することができた。これからも更なるハードルを越えながら夢を追いつける挑戦が私の使命だと思っている。』と力強い言葉をいただきました。これからの益々のご活躍を期待致します。



新しい民生児童委員決まる

12月1日、民生委員、児童委員および主任児童委員に次の方々が厚生労働大臣から任命されました。(任期3年)

▼民生委員・児童委員

- 菱 浦 八幡喜久子さん
- 福 井 和多田良寛さん
- 西 直塚 治長さん
- 中 里 沼田 初枝さん
- 東 高木 輝二さん
- 北 分 大森 芳信さん
- 宇受賀 小前 勝房さん

▼主任児童委員

- 東 波多 章代さん
- また、多年にわたり本町社会福祉行政の推進に寄与され、今期をもってご退任される方々に厚生労働大臣および知事ならびに町長から感謝状と記念品が贈られました。

退任された方々

- 豊 田 山下 幸子さん
 - 保々見 岡本 久子さん
 - 知々井 水上 紀之さん
 - 御 波 森井 一俊さん
 - 多 井 道橋 幸男さん
 - 崎 杵築 慶信さん
 - 日須賀 松井由紀子さん
 - 菱 浦 中畑 九丈さん
 - 西 三浦 忠さん
 - 中 里 田中 國子さん
 - 北 分 新脇 成代さん
 - 宇受賀 宇野 運治さん
 - 豊 田 道根 一江さん
 - 日須賀 佐藤 妙子さん
 - 崎 河浜 洋江さん
- そして、主任児童委員として長年ご尽力いただきました八幡喜久子さん(菱浦)にも同様に感謝状と記念品が贈られました。
- 長い間ご苦労さまでした。

今年^どは酉年 新年の抱負

上村達也くん
(西) 12歳



今年、6年生なので、下きゆう生の見本になれるようにがんばりたいです。あと、バスケットもがんばりたいです。

上田良美さん
(保々見) 84歳



人生航路は宇宙のパラダイスをターゲットに毎日感謝とスマイルで悠々綽々全力投球で精進致す事が天賦的な使命であると私は確信致します。

野津 茂さん
(菱浦) 48歳



海士町が更なる発展をしますように！

銭谷美枝さん
(豊田) 36歳



前の酉年の誕生日にUターンして丸11年が過ぎ、12年目を迎えました。次の酉年まで一層がんばろうと思います。

森 光子さん
(北分) 48歳



年女に当たりの私。今までの座右の銘「生きているだけで、丸儲け。」改めちょっと進歩して「一日一生」と思いがなりたいと思います。

田中サダ子さん
(中里) 96歳



フロシキに本を包み背負って海士小へ通った明治生の1年生をなつかしく思い出しながら心なごむ思い出でした。皆どうしているやら元気かなあ。

仲島 愛さん
(御波) 12歳



今年、6年生です。5年生以上に新しいことに挑戦してみたいです。今年もがんばります！

平木 亘さん
(福井) 24歳



海士に帰ってきてから、1年になります。今年は、1m以上のすずきを釣りたい！

渡辺京子さん
(崎) 72歳



身体の不調と上手につきあいながら健康維持に励んでいます。6度目の酉年、昨年は未曾有の自然災害に果てしなく続く戦乱を思うと育ち行く子どもの未来を祈らずには居られません。

水上明美さん
(知々井) 24歳



隠岐に帰ってきて、楽しい事辛い事などいっぱいありました。今年もいろいろあるとは思いますが、帰ってきて2年になるので、負けずに隠岐で頑張ろうと思います。

田邑福太郎さん
(福井) 72歳



皆様にとって良い年でありますように…！

永井トクさん
(東) 84歳



私は大正10年1月2日生まれ84歳になりました。戦前戦後の厳しい時代を乗り越え今日まで生かされていることに深く感謝をしています

道橋七郎さん
(多井) 60歳



私は健康のためにと毎日「ひまわり」のプールを利用していましたが、中々根が続きません。今は、多井の地区内を夜にぐるぐる廻って散歩しているけど、これは続けたいと思う。

石田浩二さん
(宇受賀) 36歳



海士町に帰って、まだ3ヶ月ですが、早く皆さんに顔を覚えて貰える様に、「仕事」に「遊び」に頑張っていきたいと思っています。

海士町の酉年生まれ

明治42年	生まれ	7人
大正10年	生まれ	25人
昭和8年	生まれ	46人
20年	生まれ	26人
32年	生まれ	30人
44年	生まれ	14人
56年	生まれ	11人
平成5年	生まれ	26人
合計		185人

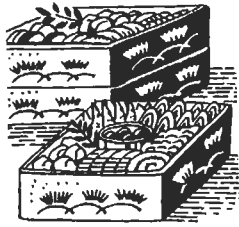
今年「酉年」

平成17年は酉年です。十二支の動物の中で、唯一の鳥類です。干支の「酉」は「ニワトリ」のこと。単に鳥ということとニワトリ（鶏）を思い浮かべる人も多いようですが、ニワトリは、人間と最もなじみの深い鳥といえます。

ニワトリ（鶏）に関することわざや慣用句は、あまり聞きません。「鶏口となるも牛後となるなかれ」は、鶏を小さな組織、牛を大きな組織にたとえて、大きな組織の属員になるよりは、小さな組織でもその頭となることのほうがよい、の意味。小さくとも勇ましい鶏の姿が思い浮かびます。一方、「鳥」に関することわざ、慣用句は、いくつもありそうです。「籠の鳥」は、籠に入れられた鳥は飛ぶにとべないところから、自由を奪われていくこと。または、そのような境遇にある人。「空飛ぶ鳥は落とす（飛ぶ鳥を落とす）」は、空を飛んでいる鳥も落とすほどの威力があるさまのた

とえ。打ち落とされる鳥といえ「一石二鳥」。一つの石を投げて二羽の鳥を同時に打ち落とす意から、一つの行為によつて同時に二つの利益を得ることの意味。「閑古鳥が鳴く」は、貧しくてびいびいしているさま。また、商売などがはやらないさまをいいます。閑古鳥を追い払い、今年こそ本格的な景気回復でたくさんのご利益を、といきたいものです。

昨年は、鳥インフルエンザによる感染が問題となり、養鶏農家や私達の日常生活に大きな影響を及ぼしました。今年はそのような問題が起きないよう祈りたいものです。ともあれ、よい年でありますように。



みんなで語ろう鳥根の未来

平成16年度知事広聴会開催

この広聴会は、地域の課題などについて知事と県民同士がその解決や具体策の実現に向けて話し合うもので「みんなで語ろう鳥根の未来」が県内7会場で開催されています。隠岐地域の広聴会が10月30日（土）マリンポートホテル海士において開催され一般公募により決まった12名が知事と意見交換しました。

今年、「鳥根のこれからの観光・交流について」自分たちで作る地域の魅力」と題して行われました。



参加者は、隠岐の島町から2名、西ノ島町から1名、海士町からは9名（亀田桃一さん、崎野里美さん、城之内直也さん、永井佐吾郎さん、波多総一さん、柏谷 猛さん、そして隠岐島前高校から青木 竜次くん、小林 昌之くん、竹谷 友くん）が参加し、隠岐の島の魅力や島の観光を活性化していくためにはどのようなしたらいいのか、また、自分たちには何ができるのか等活発な意見が出されました。

その中で、訪れた観光客に隠岐の印象を良くしてもらうためには、接客マナーのレベルアップを図ることが大切、一人ひとりがサービスに対する意識改革が必要であり、言葉の対応に最も気をつけなければならぬ。

また、観光客を受け入れる組織体制の確立を図ることで人づくりネットワークができるのではないかな等の意見が出されました。そしてITを有

効活用し、島の情報発信をすることで、離島のハンデいを克服し、今後の観光振興に大いに役立てることが大切であるなどの意見が出されました。

最後に知事より今回の広聴会には高校生から90歳までの幅広い年齢層にかかわらずそれぞれの分野ですばらしい意見をもらい、これからの鳥根県の観光施策に役立てたいと講評をいただきました。



～季節の風物詩～ 桜民パワ－全開

海士町千本桜構想着々と…



金光寺山山麓急斜面での植樹の様子



茅崎方面の植樹の様子

二年目となる千本桜植樹祭が11月28日(日)に行われ、各種41団体から延べ600名余りの「千本桜協力隊」が結集し、菱浦地区の(茅崎)キンニャモニヤセンター対岸付近と金光寺山山麓の5ヘクタールにヤマザクラ、オオシマザクラ、ウコン、ヨラコウ、フゲシソウ、カンザシ、鬱金、陽光、普賢象、関山の計400本を植樹。

特に、金光寺山周辺には、道路脇からすぐ観れるように園芸種(関山・普賢象・鬱金・陽光)を植え付け、花の色、形、開花時期等少しでも長く花を楽しむことができることを想定したものです。急斜面で足場も思わしくなかったものの、協力隊の殆どが昨年の植樹作業を経験しており、手際よく2時間程度の作業となりました。

初年度に植樹したサクラも翌年の4月には「花」を付け、雨、雪、風にも負けず元気に成長していることが確認でき、関係者一同喜びました。2カ年で計800本の桜を植樹し、「新名所づくり」にまた一歩近づいたところです。



海士小・福井小の5、6年生も参加



近畿海士後鳥羽会の皆さんも帰省され植樹に参加

なお、平成17年度も引き続き茅崎および金光寺一帯に400本の植樹を予定しています。平成18年度のゴールまで住民の皆様や出郷者他関係者の皆様方のさらなるご協力とご支援をよろしくお願い致します。



日頃使ったことのないじょうばん、剣スコに悪戦苦闘の高校生



今年は、特に急斜面ばかり、一人のけが人もなく手際よく作業が行われました。



茅崎、金光寺に分かれての開会式となりました。

梅の郷づくりからはじまる

〜崎村発 こだわりの一品づくり〜



蘇婆訶梅林の植樹風景

平方に高さ25mの苗木100本を植樹。地区では新たな「梅の郷づくり」めざして奮闘中です。

11月27日崎地区において梅林の植樹祭がおこなわれ、地区住民と関係者ら約80名が参加しました。記念式典では、この梅の郷づくりに深いかかわりをもつ料理研究家の中村成子先生から「梅づくりに対する一人ひとりの願いが天まで成就できますように」と熱い願いが込められたお言葉や、また、植樹した苗木には『蘇婆訶梅林』と命名していただきました。植樹地となった崎の入口付近の遊休農地約4千

現在、町では「海士の塩」を使った特産品づくりをめざして様々な取り組みを展開しようとしています。住民の皆様には、広くご理解をいただくための講演会や説明会をおこなってきました。6月には、中村成子先生の指導の下に、『梅干しづくり大会』を開催し、町内から200kgの南高梅を集めミネラルたっぷりな「海士の塩」で漬け込むなど、たくさんの方々が高い関心をもっていただいたところです。この「梅の郷・崎村づくり」に至った経緯は、まさに此が原点であり、その時に集められた南高梅の中に、ひととき目立つ「梅」を発見したことから始まり、その梅のルーツを辿ると「崎で育った梅」であったこと、また、島の南端で果樹等の栽培に最適な土地

柄であったことです。

この植樹に至るまでには、地区役員や関係者らと協議を重ね「梅の郷・崎村づくりをめざして」と銘打ち、少子高齢化が進む地区を盛り上げるために住民ごぞつて取り組みができるように話し合われました。まず、9月には、地区内遊休農地の借り受け、区民と町職員合同で開墾作業を数回にわたって実施。また、一方では、女性陣を対象に推進委員から梅づくりの勉強会、10月には、小田原から講師を招き剪定講習会等を行うなど集落全体が梅づくりに対する



蘇婆訶梅林に花が咲く頃は、その背景に大山が一望できすばらしい景色が望める「崎の新名所」となることでしょう。

気運を高めました。

この植樹祭を機に崎地区民はもとよりたくさんの方々が梅づくりに参加することで地区の活性化を図り、将来は崎地区から特産品を発信することができるよう期待は大きく膨らみます。



『梅の郷』崎を盛り上げ後世に繋げていきたい」とあいさつする吉田秀夫区長



剪定講習会を受ける地区住民のみなさん

エコクッキング開催

食材を生かして使い切ることが一番海士町連合婦人会は12月12日、隠岐開発総合センターにおいてエコクッキング教室を開催しました。当日は、学校給食センターの坂栄養士を講師にお迎えし、婦人会員20名が参加して行い、それぞれの料理について作り方や食材を生かして使い切る方法等について説明を受けた後、3班に分かれ調理実習をし、出来上がった料理で試食会をし、会員相互の交流を深めた意義ある講習会となりました。

- 当日の実習メニュー
- ・豚肉のビール揚げ
 - ・いかのココナツツカレー
 - ・ロールキャベツチゲ
 - ・あずきのミルク寒人参入りくず饅頭



第34回海士町産業文化祭

「自立・挑戦・交流～そして限りなき前進～」熱意・誠意・創意

11月20日、21日の2日間にわたり農協店舗前、役場、開発センター周辺を会場に恒例となった産業文化祭が行われました。初日からたくさんの方々を訪れ、会場周辺には、農林水産物、野菜・果物等を買求める人や日用品、食べ物、鉢花販売等たくさんの店舗が立ち並び賑わいました。

また、今回は、隠岐潮風ファーム「潮風万作」視察ツアーがあり60名余りが参加。大型バスを貸切って潮風ファーム堆肥センター・牛舎・肥料散布の実演など視察、「町の新産業に興味深く視察できた」と参加者からの声がありました。展示会場（開発センター内）では、趣向を凝らした手芸、絵画、書道、生け花、木工芸品等すばらしい作品の数々が展示され訪れた人の目を楽しませました。2日目は、地域芸能祭が行われ、趣味で始めた習い事や手品、踊りなど素晴らしい発表に会場中盛り上がりました。この2日間沢山の人が訪れ交流が深まった一時でした。



展示コーナーでは、息をのむ作品ばかり。



意気のあつた「よさこいソーラン」かけ声合わせて気合いも入れて・・・！



電子申請サービスコーナーでは、自宅のパソコンから各種申請ができることの説明をおこないました。



熱心な農業関係者らが集い堆肥センターの説明を受ける様子。



連合婦人会員の皆さん、毎年早朝からのお弁当づくり 本当にご苦労さます。



華道を極めるには、素材を選ぶことから・・・今年も素晴らしい作品の数々でした。

〜新潟中越地震義援金送る〜

ライオンズショップ大盛況

産業文化祭の時に開催致しました、『ライオンズショップ』は町民の皆さんのご支援をいただき大変盛況で全商品を完売して終了する事ができました。

売り上げ金の14万円余を11月29日に新潟中越地震の被災者の皆さんに義援金として送金致しました。



ライオンズショップの商品は大人気！おかげで完売しました。

隠岐海士ライオンズクラブ

会長 大上重男

今回をきっかけに福祉の向の会員数は現在約13万人です。

上に役立てるため、趣向を凝らしてライオンズショップを引き続き開催したいと考えておりますので町民の皆様のご協力をお願い致します。

ここでちょっとライオンズクラブの事をご紹介いたします。ライオンズクラブは社会奉仕を目的として約90年前にアメリカで生まれました。世界の92ヶ国で組織され日本での会員数は現在約13万人です。

デリックベグリー先生の

〜外国人の新鮮な目で海士を見て〜

フレッシュ・アイズ オン・あま

Vol. 3

カナダの実家では、クリスマスはの時期になると、この一年間を振り返り、僕を幸せにしてくれた人や出来事をひとつひとつ思い出して感謝する事が習慣となっています。

クリスマスはの時期が近づいたので(※)、カナダにいた時と同じように「僕の幸せ」を挙げてみようと思います。

★健康で働き者の美しい妻、紀子(のりこ)。
★いろいろな質問をして頑張っている、僕の生徒たち。そのように興味をもつことが知識になる第一歩だよ！
★毎週水曜日の夜のバスケットボール。水曜日の夜は家庭やお金、仕事のストレスなど全ての悩みを忘れさせてくれます。スポーツは、世界中どこでもできるのでいいですよね！

★海士中の3階から見える景色。

★スケートボードをするにはもってこいの、いつも空いている島前大橋予定地への道路。

★僕に「練習と鍛錬の場」を提供してくれる、島前高校でのレスリング。

★怖がらず僕と話をしてくれる海士のみなさん。

「ルパンの漫画に出てくる悪役」にも見えそうな僕と話をしてくれると、僕の心も和みます。

★克蘭キーホワイトチョコレート。これ以上のチョコを僕は食べたことがありません。

★明屋海岸で泳ぐこと。

★「ひまわり」で泳ぐこと。

★我が家のトランポリン！

★そして最後に、湯橋卓也。

海士での生活や仕事があまくいっているのは君のおかげだよ！

みなさんメリークリスマス！(※)

※：原稿は12月中旬に書かれました。(和訳 濱中香理、湯橋卓也)



月一回ひまわりの居住者の方々と交流会の様子

職員人事異動

◆ 辞職

(9月30日付け)

武田紀佐子(生活環境課) 永年にわたり海士町町勢発展のためにご尽力いただきました。本当に長い間お疲れさまでした。

今後益々のご活躍をお祈り致します。



… 平成15年度決算報告 …

厳しい財政状況続く！！

海士町の平成15年度の決算が12月定例議会にて認定されました。決算は、いわば町の家計簿で、一年間に税金、交付金、補助金などが、どれくらい入り(歳入)、私たちの暮らしのためにどのような使われ方をしたか(歳出)を明らかにするものです。

平成15年度に実施した主な事業

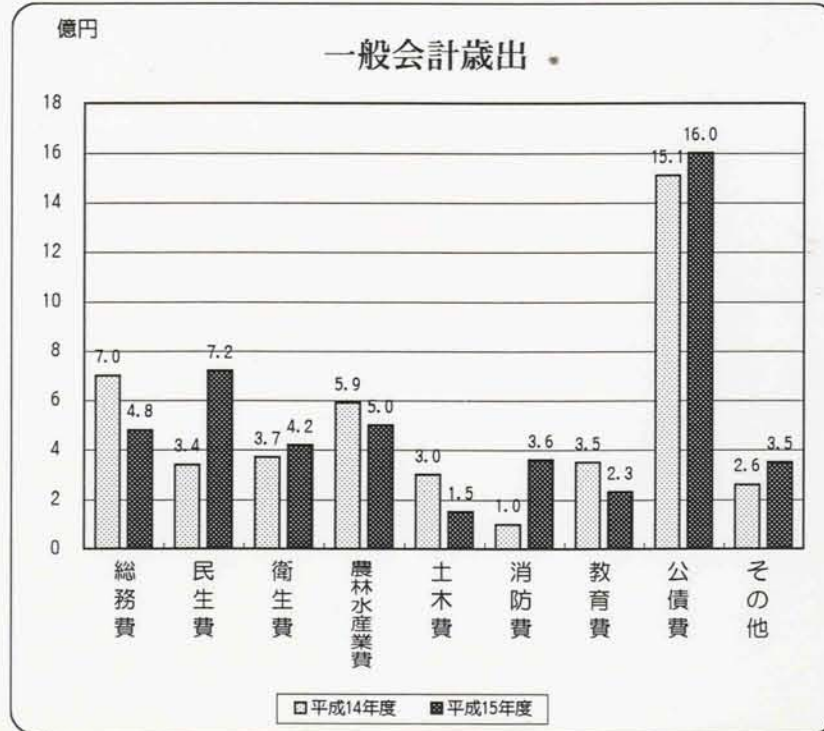
- ◆ 防災行政無線整備事業
- ◆ 諏訪苑拡張事業
- ◆ 海士中グラウンド整備事業
- ◆ 特産品開発事業
- ◆ 給油タンク建設工事
- ◆ 風呂屋海岸整備事業

一般会計歳出
48億9百万円
(対前年度比 6.5%増)

一般会計歳入
48億6千7百万円
(対前年度比 6.4%増)

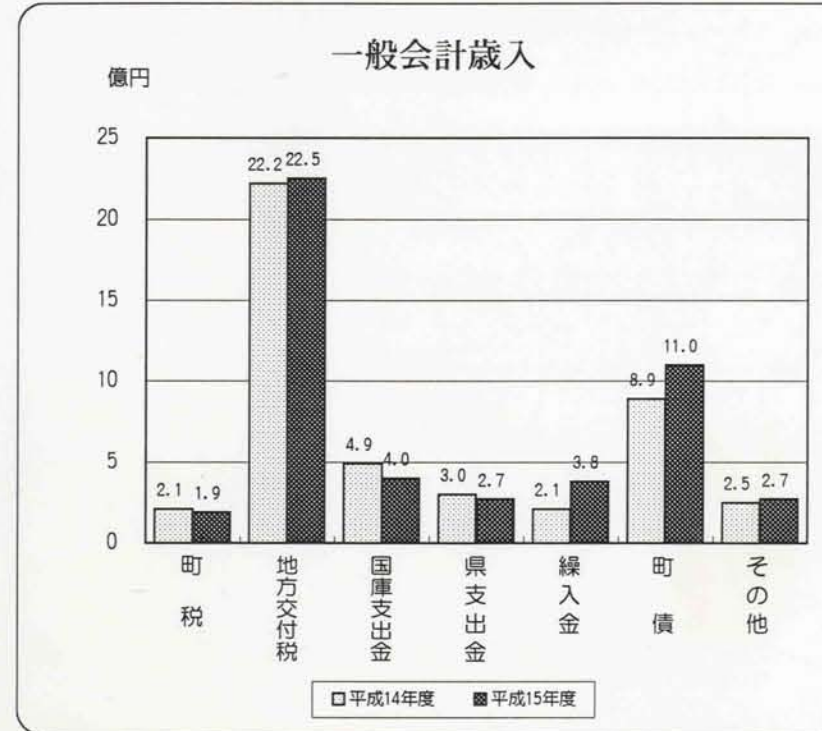
用語解説

- ◆ 総務費
役場の運営、財産管理、徴税費、定住住宅、電子計算費など
- ◆ 民生費
老人福祉や児童福祉、障害者福祉など
- ◆ 衛生費
予防接種や検診、ゴミ処理など
- ◆ 農林水産業費
農業、林業、畜産、水産振興などの費用
- ◆ 土木費
道路の改良、港の整備、公営住宅の改修、公園の管理
- ◆ 消防費
防災行政無線整備、隠岐島消防署負担金など
- ◆ 教育費
学校の運営、社会教育など
- ◆ 公債費
町債(借金)の返済
- ◆ その他
議会費、商工費、諸支出金



用語解説

- ◆ 町税
皆さんが町に納めた税金。町民税・固定資産税・軽自動車税など
- ◆ 地方交付税
国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金。(財源は所得税・法人税・酒税・たばこ税・消費税の法定五税)
- ◆ 国庫・県支出金
事業を行うにあたって国・県が補助するお金
- ◆ 繰入金
他会計や基金(町の貯金)から入る現金
- ◆ 町債
大きな事業を行うために国・県・金融機関から借り入れたお金
- ◆ その他
各種交付金、分担金、負担金・使用料、手数料、財産収入、繰越金、諸収入



町の決算状況について

① 一般会計

一般会計の決算額は、上記グラフのとおりです。歳出では、総務費の減額と民生費の増額が目立っています。これは、総務費の「地域インターネット整備事業」の終了によるものと、民生費では、「諏訪苑施設整備補助金」による増額です。

歳入では、約半分を占める地方交付税は、昨年度とほぼ同額ですが、「地財ショック」、そして、今後の「三位一体の改革」により平成16年度からは大幅に削減されており、自主財源に乏しく地方交付税に依存している当町では、運営が非常に苦しくなっています。

一般会計の歳入と歳出を単純に比較すると借金の返済である公債費に地方交付税の大部分を充てているような状況から財源的に余裕がありません。

今後も、「三位一体の改革」による影響を強く受けながら、網渡り的な予算編成を行わなければならない状況に追い込まれています。

② 特別会計

特別会計の決算額は、左の表のとおりです。

本来特別会計は、独立採算によって運営されるべきものですが、医療や上下水道事業など、一般会計からの繰入金(財政支援)に頼らなければ、その運営ができないのが実態です。

(単位:千円)

区分	収入総額	歳出総額	収支差引	収入総額のうち 一般会計からの繰入金
国保事業勘定	308,258	300,109	8,149	22,076
診療施設勘定	416,994	416,993	1	72,145
歯科診療勘定	60,516	60,516	0	20,092
簡易水道事業	136,171	136,171	0	44,127
老人保健事業	452,267	451,200	1,067	22,960
下水道事業	646,952	640,000	6,952	115,516
キンヤモニヤセンター	62,081	62,080	1	4,987

～ 海士町職員の給与・定員管理等の公表 ～

町職員の給与は、人事院により毎年、民間企業の給与などの実態や生計費、物価などを調査し、それに基づき国家公務員の給与改定が必要な場合に出す給与勧告に準じています。そして、国、県、近隣町村の給与などを考慮して、町長が給与条例の改正を町議会に提案し、その審議・議決を経て決定されます。

1. 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成16年3月31日)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費比率 (B)/(A)
15年度	人 2,514	千円 4,804,356	千円 576,415	% 12.0

(注)人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含んでいます。

2. 職員給与費の状況(普通会計予算)

区分	職員数 (A)	給 与 費				一人当たり 給与費 (B)/(A)
		給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
16年度	人 68	千円 223,806	千円 29,464	千円 87,558	千円 340,828	千円 5,012

(注)特別職を除き、臨時職員を含んでいます。職員手当とは、扶養・住居・通勤・時間外勤務手当などの諸手当で退職手当等を含みません。

3. 一般行政職の平均給料月額及び平均年齢の状況

(H16.12.1現在) (H16.4.1現在)

区 分	海士町	国
平均給料月額	282,400円	327,555円
平均年齢	42.0歳	40.2歳

4. 一般行政職の初任給の状況

(平成16年12月1日現在)

区 分	海士町	国
大学卒	153,900円	170,700円
高校卒	125,200円	138,800円

5. 職員手当の状況(平成16年度支給割合)

(平成16年12月1日現在)

区 分	海士町(国と同じ)			区 分	海士町(国と同じ)		
	期末手当	6月期 1.4 月分	12月期 1.6 月分		計 3.0 月分	扶養手当	配偶者
勤勉手当	6月期 0.7 月分	12月期 0.7 月分	計 1.4 月分	扶養手当	配偶者以外の扶養2人まで	6,000円	
	退職手当	区分	自己都合		定年・勲奨	扶養親族でない配偶者を有する場合の1人目の子	6,500円
勤続20年		21.00 月分	28.08 月分		配偶者のない場合の扶養1人	11,000円	
勤続25年		33.75 月分	43.33 月分		その他の扶養親族	5,000円	
勤続35年		47.50 月分	60.99 月分		16歳から22歳の扶養親族加算	5,000円	
最高限度	60.00 月分	60.99 月分	住居手当	借 家	月額12,000円を超える家賃を払っている職員に対し、家賃の額と12,000円との差額を支給(27,000円限度)		
退職手当	最高限度	60.00 月分	60.99 月分	持家	新築から5年間	2,500円	
	通勤手当	2～5キロ	5～10キロ	10キロ以上～	2,000円	4,100円	6,500円～

6. 特別職の報酬等の状況

(平成16年12月1日現在)

区 分	給料・報酬月額	参 考	
給 料	町 長	476,000円	給料 30% カット
	助 役	462,000円	給料 20% カット
	教育長	419,000円	給料 20% カット
報 酬	議 長	198,000円	報酬 20% カット
	副議長	165,000円	報酬 20% カット
	議 員	137,000円	報酬 20% カット

区 分	平成16年度支給割合		
期 末 手 当	町 長	6月期 1.6 月分	
	助 役	12月期 1.7 月分	
	教育長	計 3.3 月分	

7. 部門別職員数の状況

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数(人)			対前年増減(人)		
		平14	平15	平16	平14	平15	平16
一 般 行 政	議 会	2	2	1			▲1
	総 務	15	17	15	1	2	▲2
	税 務	2	2	2			
	農 水	8	6	10	▲2	▲2	4
	商 工	4	3	4		▲1	1
	土 木	8	8	8	▲1		
	民 生	6	7	4	2	1	▲3
	衛 生	8	9	9		1	
	小 計	53	54	53		1	▲1
	特別行政	教 育	10	9	9	▲2	▲1
普通会計	計	63	63	62	▲2		▲1
公 営 企 業	病 院	16	16	14			▲2
	水 道	2	2	1			▲1
	下 水 道	2	2	1			▲1
	そ の 他	1	1	1			
	小 計	21	21	17			▲4
総 合 計		84	84	79	▲2		▲5

(注)一般職に属する職員数で、臨時職員を除いています。

慟哭の旅

平成十六年度

東部ニューギニア慰霊巡拝

いまも、太平洋、みなみの

島嶼、海山川には、さきの大東亜戦争において、尊い命を捧げた幾多の英霊が静かに眠る。平成十六年十一月二十日から八日間、掲題の政府派遣団の一員として参加するを得た。ここに紹介する。一行は、厚生労働省五名、遺族代表二十七名、旅行社三名であった。

現地ではマラリア対策を怠りなく、ジャングルの中の道を、場所によっては川の増水に行く手を阻まれ、戦没場所を尋ね、祭壇を設え慰霊祭を挙行した。亡父亡兄弟の没地に立ち、故人を想い、泣き崩れる遺族の姿もあった。

私の父の没せし海は、ウエワク市から約二十哩離れた美しい珊瑚礁ムッシュ島の沖合である。船を仕立てて渡り、浜辺にて北方遙かなる日本へ向かって祭壇を設え、国旗・位牌・花輪・写真・供物を整え、大勢のはだし姿の原住民が見

守る中で慰霊祭を挙行した。船と共に逝きし経度緯度点にて、紺碧に澄む珊瑚礁海中を見つめ、遙かなる日本の方角をおろがむ。海面に、父母の写真、五人の子供の婚礼写真、孫曾孫の名書き、南国の生花、故郷で穫れた饌米を浮かべ、父の好物であった灘の生一本を静かに漕いだ。

隣に位置するカイリル島島影は、隠岐丸から眺める木路ヶ崎から崎々多井の背が連なる稜線に驚くほど似ている。父は沈み行く船橋から檣頭の日の丸を仰ぎ、生まれ故郷多井に想いを馳せつつ没したことであろう。

父は明治三十年(一八九七)に多井区にて生を受けた。崎の尋常小学校卒業後、大阪市の生活根拠地とし、苦学の末海技免許を取得したものと推測される。そして、広大な南の海域に延びきった兵站路の確保、前線の築橋頭堡。軍需

物資輸送の途次、昭和十八年(一九四三)、この海にて空爆被弾、陸軍軍属御用船船長として、お國に命を捧げ、その生涯を終えた。

享年四十七歳であった。昭和十八年、兵役法改令により、上限四十歳が四十五歳に引き上げられた。これに対して、船員の徴用は年齢無制限であった。旧令によると、船長以下は佐官尉官待遇が与えられた。

他方、諸説の一つは云う、汽船船員死亡率は四十三%で、陸軍二十%、海軍十六%、を大きく越える、と。

私は子供の頃から、父の終焉の海を尋ねること、と共に、陸上勤務・高齢の父が、如何様に戦場に狩り出されたか。併せて、当時、全国の行政役場に置かれた兵事係と徴兵・赤紙発行、等の仕組みを知るのが宿題であった。

退職後、時間を得て、これらの調査につき

海点等が判明した次第である。

公式経度緯度の表示される木路ヶ崎より遠く離れ、大圏コースを辿ること、赤道を越え、四、五六二軒に位置するムッシュ島沖合・沈没海点。

会社勤務時代、海外出張に際して、飛行機の窓から雲間に見える南の島影。見えもしない遙か遠くの海に眠る父を想ったことが幾たびあっただろうか。

幼き頃の幻が如き父の想い出。いまも消し去ること能わぬ空襲の惨状。永の歲月尋ねることを念じつつ、父の行年を越えること二十一とせにして、願成就。珊瑚礁海に眠る亡父を訪れることを得た。そして、こころの葬儀・戦後を終えた。いまは、語り合ひ度き母、はらからはすでに亡くも。

今日の平和と繁栄の礎を築きし尊き幾多の英霊に対して、今後とも、慰霊・巡拝の心の衰退することの無きを願い、寄稿する。

(岡山県在住 新脇 弘司)



「慰霊祭」ムッシュ島浜辺にて H 16. 11. 23

御用船の運行、父の勤めた作戦・内容・沈没

議会だより

海士町再生そして自立への道

～今こそ住民と議会・執行部が両輪のごとく～

議会議長 亀谷 潔



明けましておめでとございます。平成17年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。みなさまには、常に町政の推進、議会運営に対する深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年もいろいろありました。一向に平和のこないイラクの惨状、無作為に勃発するテロ行為による人質殺害、国内においては多くの被災者

を出した新潟中越地震や相次いで上陸した台風、夏の猛暑など記録的な天災と、幼児虐待、子供の殺人事件など人々の平和や、政治経済の歯車を一層大きく狂わせた年でありました。「禍転じて福となす」といいます。今年こそ平和で幸せ多き年でありますことを期待し念ずるのが人々の願いであります。

幸い、当海士町は町長のリーダーシップのもとに、職員それぞれが一丸となり経営指針である「自立・挑戦・交流」そして限りなき前進を実践し、さまざまな施策を展開しています。一方、国は地方分権を推進することと財政再建の目的をもった「三位一体の改革」のもと、国の財政再建のほうにだけ目をむけ、

大幅な地方交付税の削減が実行され、所謂「地財ショック」といわれる激震が走りました。そんな中、町長以下執行部、議会、教育委員、職員共々に報酬カット等による財政改革のもとこの窮地を乗り切ったところであります。昨年末には「二〇〇四年骨太方針」三位一体改革の中身が提示され、

本年に於いても地方交付税の削減が予測され、小規模町村にあつては予断を許さない状況にあります。この難局の中、二〇〇五年を迎えた海士町にとって単独町政そして自立の道を選択した今、生き残りをかけ住民の負託に応えるべく、全身全霊を傾注する覚悟を新たに致すところであります。海士町の存亡をかけた地域再生の切り札、凍結システム(CAS)を核とした新産業創出事業が今春から新第三セクターとして営業開始となりま

す。まさに海士町の命運をかけた大事業であり、議会の最終決断には大きな重みがあるところであります。海士町が倒産してしまつては住民の負託も何もありません。まさに運命共同体であり失敗は許されないのであります。議会、執行部がそれぞれの立場を尊重しつつ責任を共有し、今こそ、車の両輪のごとく、将来像を見据えた海士町再生自立の道をめざし前進あるのみと心得ます。住民の皆さま方から常に共感が得られ責任の持てる議会構築をめざし議員一同力いっぱい頑張る所存であります。何はともあれ希望を乗せた海士町丸は出航となりました。順風満帆とはいかないまでも二〇〇五年の航海が着実に前進するよう願うところであります。

町民の皆様、本年も変わらぬご理解、お力添えの程をお願い申し上げます。終わりになりましたが皆様にとつて二〇〇五年がご健勝で最良の年でありますよう祈念いたしまして年頭のご挨拶と致します。



意見書提出

第41回定例会が12月16日、17日の2日間の会期日程で開催されました。議員提案で「平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書提出について」が上程され審議の結果可決されました。

(提案理由)

政府は「地方交付税について、一般財源の総額を確保する」と明記しているが、政府内部で目下、予算編成の作業中であるが、実際にはかなり厳しい状況である。この様な状況の中、当町にとって『地財ショック』相当の大幅交付税削減が引き続くような事態になればまさに死活問題であり提案する。

平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

「三位一体の改革」は、真の地方分権の確立に向けた改革であり、地方公共団体が自主的・自立的な財政運営を行えるようにするための改革である。「三位一体改革」に係わる

政府・与党合意は、地方交付税の改革として、「平成17年度18年度は、地域において必要な行政課題については、適切な財源措置を行うなど、『基本方針2004』を遵守することとし、地方団体の安定的な財政運営に必要な交付税、地方税などの一般財源の総額を確保する」と明記している。

また、『基本方針2004』は、「財政力の弱い団体においては、税源移譲が国庫補助負担金廃止、縮減に伴い財源措置すべき額に満たない場合があることから、実態を踏まえつつ、地方交付税の算定などを通じて適切に対応する」と明記しているところである。これは、平成16年度の地方交付税について理不尽にも大幅な削減が行われ我々の国に対する信頼関係を損ねたことの反省に立って、明記させたものと理解している。よって平成17年度の地方交付税は平成16年度の轍を踏まぬよう、国と地方の信頼関係の構築に努め、少なくとも平成16年度以上の総額を絶対確保するよう強く要望する。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

平成16年12月

島根県海士町議会

議長 亀谷 潔

(提出先)

政府など関係機関



県職員を交えて三位一体改革の勉強会の様子

産業文化祭に参加して

活性化委員長 古濱 正之

わが海士町は、「自立・挑戦・交流」そして限りなき前進のスローガンのもと「小さくとも輝くまちづくり」「選ばれし島」を目指し、行財政改革や新たな産業興しにと邁進しているところですが、そんな中、我々は、「行政と議会は車の両輪のごとく」とおり議会として『活性化特別委員会』を設置し、諸般の事項に対応すべき協議検討いたしているところです。

皆様からの温かい賛辞に敬意し、「参加することに意義あり」を改めて認識致しました。これからも町民の皆様の代表として町の発展に寄与して参りますのでよろしくお願致します。

昨年は議員一同、産業文化祭に参加して「海士町民の歌」を歌いました。まさに、「自立・挑戦・交流」そしてかぎりなき前進の「スローガン」にマッチした歌詞であり一人でも多くの町民の皆様に口づさんで頂き、郷愁、哀愁、誇りに繋がればと思ひ恥ずかしながら精一杯歌いました。出演までは衣装のかわいらしさに冷やかされたり、なれない故に緊張してこわばったりで、幼い時の学芸会の心境でした。何せ公私とも多忙なメンバーのため十分な練習もできないままの出演でしたが、町民の



教育だより

学力向上フロンティア事業 研究発表開催！

福井小学校

11月16日（金）に、本校において学力向上フロンティア事業研究発表会を開催いたしました。これは、本校が昨年度から文部科学省及び島根県教育委員会の研究指定を受けて、子どもたちの確かな学力の向上を目指して取り組んできた二ヶ年間の成果を発表するものです。昨年度は算数を中心に取り組み、今年度はそれに国語の読む力書く力の育



成を加えて取り組みをすすめてきました。

当日は、14名の来賓を含めて65名の方に来ていただきました。全体会で二年間の研究のまとめを発表した後、一年と三年の国語、四年と五年の算数の授業を公開しました。

一年生は読む力を高める授業でした。公開授業に慣れない一年生は、たくさんのお客さんに見られてどきどきだったようです。三年生の国語は、作文の授業でした。写真に写った人物のようすをよく観察し、細かな表現が見られました。四年生の算数は、2位数でわるわり算の筆算の授業

でした。児童の実態に合わせて学習の手引を使って、きめ細かな指導を行い、どの子ども手順を理解し集中して取り組みました。五年生の算数は、平行四辺形の面積を求める授業でした。実態によって分けたグループで学び合う学習でしたが、グループの中でそれ



ぞれの考えを出し合い活発な授業となりました。

午後の公開授業の後は、国語と算数に分かれて分科会をもちました。どちらの分科会もとても活発な分科会となりました。

今回の発表会は、教育委員さん、町会議員さん、民生委員さんなど多方面からご来賓としてご出席いただきました。また、給食センターのご協力で参加者の昼食用の給食弁当をつくっていただき、これまでにない取り組みで参加者の間でも大変評判でした。

福井小学校では、二年間の研究の成果を踏まえ、さらに研究に取り組んでいこうと話しているところです。

力走！しおかぜ駅伝

タスキに繋げる汗と友情

少し肌寒い天候ではあったが、第13回浜田―益田間（しおかぜ）駅伝が、12月12日に開催されました。大会には、県内59市町村中、53チームが参加しました。今大会は、4月1日現在の市町村で行われました。各チームとも最高のチーム編成で望んでおり、海士町チームは、11年連続の出場です。

一区井上かおり選手は、初出場で不安だったと思いますが、スタートするなり上位につけ粘りの走りです。タスキをつなげました。崎野真悟選手は、中学生の強豪が集まる二区で、自分の力を十分に発揮し八人抜きを演じ28位まで順位を上げました。9年ぶりに参加した三区宇野千秋選手も力走を見せました。一時は、順位を下げましたが、

五区竹村隆二選手は、中学一年生とは思えない力走で順位をキープしました。六区佐渡由季子選手においては、海士町選手で区間過去最高タ

イムで走りぬけました。七区高橋英吾選手の力走、九区増本大選手の五人抜きの快走で42位でゴールしました。顧みれば、初出場の平成6年は、19位と好成績でしたが、次年度以降は低迷を続けています。今回は中学生の力走、9年ぶりに参加した選手と明るい話題もありました。若い選手が少なく選手確保は大変ですが、県単位の大きな大会を経験できる貴重な場であり、県内の市町村が出場する中で、海士町をアピールする意義は大きいと思います。例年ながら過疎に悩み選手層の薄い離島のチームですが、これからも郷土の名誉のため引き続き参加したいと思います。



28日 海士小学校

11月 工夫を凝らした学芸会

海士小学校では、三年前より、総合的な学習で伝統芸能の体験学習を続けています。民謡グループは「新しげさ節」「しげさ節」「キンニャモニャ」の踊りを、銭太鼓グループは「浪花節だよ人生は」と「隠岐相撲取り節」を披露。延べ九十名近い地域講師を招いて四月から週一回の練習を続けてきました。はじめ習う三年生も堂々と

発表することができました。また、一年生のかわいらしい「大きなかぶ」の劇、二年生の元気いっぱい「友だちいっぱい海士小学校」の生活発表、三・四年生の楽しい劇「ぼくらのチャレンジデー」、五年生のお笑いを交えながら自分たちの生活を見つめた劇「やっぱり五年生っていいじゃない」と、海士弁を取り入れた六年生の劇「鏡売り」と各学年の発表も工夫したものでなりました。

児童会では十月初めから代表委員会を開き、「明るく楽しく元気よく 力いっぱいがんばるぞ」というテーマを決め、役割分担をして、準備を進めてきました。当日は自分たちの手でスムーズな運営をすることができました。地域の方にもたくさん来て頂き、大きな拍手と励ましの言葉をいただきました。

27日 海士中学校

11月 今年度の学園祭のテーマは「無限大へ変化・輝き・絆」。学園祭がただのイベントではなく、それぞれが持っている力を発揮し、生徒同士のお互いの絆を深め、心の中に何かしらの変化を残すものになるようにとの思いを込めました。準備期間はわずかでしたが、生徒会事務局を中心に全校で準備活動に取り組みました。

午後は体育祭を行いました。各色の団結を深めるために全員競技を中心に行い、保護者や小学生にも参加していただきました。シンボルパネルとダンスパフォーマンスにも力を入れ、生徒が生き生きと活動する様子が見られました。

当日の午前中は伝統芸能披露が始まって、総合的な学習の全体発表とワークショップ

フィナーレが終わったとき、会場には生徒の笑顔や涙



が見られました。それを見たとき、生徒の心の中に何かを残せたのではないかと感じられました。

やっばり優勝！

ウィンアウト AMA

ソフトバレーボール中国大会

昨年6月の県大会で優勝したウィンアウトAMAは、11月20日21日に山口県長門市で開催された第9回ソフトバレーボール中国地区フェスティバル・スポレクの部に出場し、見事に準優勝を果たしました。監督の亀原勝宏さんは「我々は3泊4日の強行軍であつたにもかかわらずよく頑張った。来年は鳥根県で中国大会があるので、優勝をねらいます。」と、すでに来年を目指しています。

「私たちは、水曜日と土曜日の午後8時から海士小学校体育館で和気あいあい練習しています。運動神経に自信がない人も気軽に参加して下さい。」とのことでした。

- 出場メンバー
- 亀原 勝宏・村尾 善則
 - 早川 治・大山 博孝
 - 田中 由則・村尾 益子
 - 古濱比佐子・松尾 英子

人権・同和教育演奏会

渡部 昭彦さん来る。

北海道から車いすのサククス奏者 渡部 昭彦さん来る。11月13日(土)午後7時から開発センター集会所においてサククスの演奏会が行われました。渡部さんは自家用車に車いす・音響機器を一式積み込んで日本全国を旅して演奏活動を行っています。これは自分の夢であるジャズの本場ニューヨークでの演奏会を実現するために行っているそうです。海士町では、一部と二部に分けて合計16曲の演奏を披露して頂きました。演歌からジャズまで幅広い曲の構成でした。途中車いすの生活に至った事についてのお話しを交えながらの楽しい2時間を過ごさせて頂きました。



隠岐島前高校だより

～海士町千本桜植樹ボランティアに参加して～

4年計画の海士町千本桜植え付けボランティアも本年度で2年目となりました。町では11月28日に植え付け作業が行われたのに伴い、本校では12月3日期末考査終了後に1,2年生で実施しました。場所はキンニャモニャセンター対岸の茅崎一帯でした。冬とは思えない暖かな日で作業もはかどり、生徒の笑顔も光っていた一日でした。
(生徒指導部)



ジョウバン肩に勇ましく・・・はじめて手にした生徒も。



校長先生も腕の見せどころ発揮。桜の幹に麻布を巻く作業風景。

◇◆生徒の感想◇◆

12月3日、私たちは菱浦港の対岸付近に千本桜の苗木を植えました。桜の苗木を植えることは私にとって初めての経験だったので、どのように植えたらいいのかわかりませんでした。しかし町の職員の皆さんに教えていただき、何とか植えることができました。植えた桜が満開になるころには、ぜひ私も見に行きたいと思います。
(1年：西村 悠)

僕たち2年生にとって、今回は2年目の植え付け作業でした。2度目で慣れていたせいもあって、去年よりも作業はスムーズに進みました。穏やかな日差しの中の作業は僕たちにとって楽しく、とてもいい思い出になりました。満開になった桜を見るのが楽しみです。
(2年：村尾 努)



茅崎（キンニャモニャセンター対岸）の斜面に25本を植樹。

平成16年分の所得税の確定申告

税務署窓口での相談及び申告書の受付は、平成17年2月16日(水)から平成17年3月15日(火)までです。

●閉庁日（土曜・日曜・祝日等）は、税務署での相談及び申告書の受付は行っておりませんが、申告書は税務署の時間外収受箱に投函するか郵送などにより提出することができます。

●還付を受けるための申告書については、1月から提出することができます。

広島国税局・西郷税務署

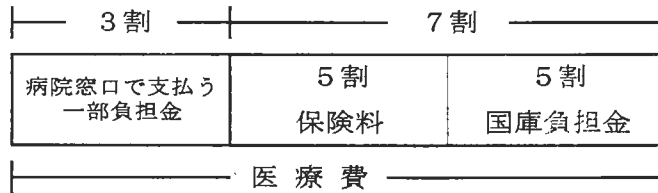
国保加入者の皆様へ

～いつも保険料を納めていただき、ありがとうございます～

納めていただいた保険料はあなたやあなたの家族がお医者さんにかかったときに、国保から支払われる医療費の大切な財源となります。つまり保険料を納めることは、あなたや家族の健康生活を支えることになるのです。

医療費を大切にしよう！

国民全体の医療費の総額は30兆円を超え、本町の国保においても今年度上半期の医療費実績額は約2億7千万円です。これからも高齢化などにより、さらに増えていくと考えられます。医療費の増加にはさまざまな理由が考えられますが、一番重要なのは一人ひとりが健康管理に気を付け、医療費のムダ使いをなくすことです。



2005年農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、平成17年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2005年農林業センサス」を実施します。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

農林業を営んでいる皆様のところへ調査員が伺い、調査票に農林業の経営状況などの記入していただきますので、ご協力をお願いします。

自賠責保険・共済保険の期限は切れていませんか？

自賠責保険・共済は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられている保険・共済です。特に車検制度のない原動機付自転車・250 C C以下の軽二輪自動車は、期限切れ、かけ忘れにご注意を！

*自賠責制度の詳しい内容 <http://www.jibai.jp> でご覧になれます。

～申告受付日のお知らせ～

平成17年1月償却資産申告受付日程

月日	受付時間	地区	会場
1月28日(金)	午前 9:00～10:00	菱浦	菱浦公民館
1月28日(金)	午前 10:30～11:00	豊田	豊田区公民館
1月28日(金)	午後 1:30～2:00	保々見	保々見区公民館
1月28日(金)	午後 2:15～3:15	知々井	知々井区事務所
1月28日(金)	午後 3:30～4:00	御波	御波区事務所
1月28日(金)	午後 4:20～4:50	崎	崎文化センター
1月31日(月)	役場生活環境課窓口において受付		

平成17年県町民税申告受付日程

月日	受付時間	会場
2月28日(月)	9:00～10:30	福井公民館
	2:00～4:00	菱浦公民館
3月1日(火)	9:00～11:00	諏訪会館
	2:00～4:00	西区公民館
3月2日(水)	9:00～10:00	北分区公民館
	2:00～4:00	東区公民館
3月3日(木)	9:00～10:00	豊田区公民館
	2:00～4:00	宇受賀区公民館
3月4日(金)	9:00～10:30	知々井区事務所
	2:00～4:00	保々見区公民館
3月7日(月)	9:00～11:00	御波公民館
	2:00～4:00	崎文化センター
3月8日(火)	9:00～10:00	ひすか会館
	2:00～3:00	多井区公民館

※ 当日都合の悪い場合は、役場生活環境課窓口にて申告していただきますようお願い致します。

【西郷税務署納税相談】

日時 2月24日(木) 午前9:00～午後16:00
2月25日(金) 午前9:00～午後15:30
場所 隠岐開発総合センター1F集会室

第31回海士町民珠算競技大会
(12/11・隠岐開発総合セン
ター)

開会式では山内大会長が挨拶
にて子ども達に励ましのお言葉
があり、今年特に頑張った生徒
が特別表彰されました。

(乗算・除算・見取算・乗暗算・
除暗算・見取暗算)と読上算の
部で受賞者は下記のとおりで
す。

▼3年生総合の部

- 1位 真野 航大
- 2位 青山 達哉
- 3位 佐藤真理愛

▼4年生総合の部

- 1位 吉元 麻湖
- 2位 山崎 理沙
- 3位 増谷 実香

▼5年生総合の部

- 1位 青山健太郎
- 2位 村上 千仁
- 3位 仲島 愛

▼6年生以上総合の部

- 1位 濱 尚也
- 2位 山中 雄介
- 3位 平田 拓希

*4年6年は3位が同点の
為2名となります。

◎1位 佐藤真理愛

- 1位 青山 達哉
- 3位 真野 航大

▼4年生読上算の部

- ◎1位 山崎 理沙
- 1位 増谷 実香
- 3位 吉元 麻湖

▼5年生読上算の部

- 1位 青山健太郎
- 2位 村上 千仁
- 3位 該当なし

▼6年生以上読上算の部

- 1位 濱 尚也
- 2位 山中 雄介
- 3位 平田 拓希

*読上算の部で3年生4年
生は1位が同点の為2名
になり同点決勝をして◎
が優勝となります。6年
生は3位が同点の為2名
になります。

窓の籍戸



1/1/30届け出分

(大字は地区在住者)

すいやかに

- 中西 藍花ちゃん 日須賀
- 宮本 紅葉ちゃん 正人 東
- 浜崎 遥香ちゃん 浩二 北分
- 小仲 莉愛ちゃん 直樹 崎
- 澤田 楓真くん 和也 福井
- しあわせに
- 中庭 哲哉さん 日須賀
- 川上 朋江さん 福井
- 和多田 誠さん 福井
- 福岡 幸子さん 御波
- 梅田 剛さん 御波
- 仲島 美和さん 御波
- 岡本 悦宏さん 御波
- 八幡 知美さん 御波

あま 海士っこ



澤谷 孟くん (4歳)

H 12.12.14日生

隆成さん・あゆみさんのお子さん
(東在住)

大きなけがも乗り越え、武士道を
極めるため、日々努力の僕です！
元気いっぱい育ててね！

このコーナーでは、就学前までのお子
さんを紹介しています、写真とコメントを添
えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先：総務課広報係
TEL 2-0115

- 香典返し
- 金一封 大野 勇様 東
- 金一封 脇谷 英孝様 菱浦
- 金一封 井上 君枝様 知々井
- 金一封 島山 哲司様 京都府
- 金一封 平木 良一様 東
- 金一封 山口 桂五様 豊田
- 金一封 千歳 一男様 福井
- 寄付金
- 金一封 齊藤チトリ様 菱浦
- 見舞返し
- 金一封 吉川 義光様 菱浦
- 金一封 中山 恵子様 北分
- 金一封 柏谷 梅子様 西
- 森本 博明さん 北分
- 中山 美紀さん 北分
- 村上 裕二さん 中里
- 斎藤 好美さん 中里
- 川真田和也さん 日須賀
- 中西 和代さん 日須賀
- 淀 重美さん 東
- 平木 宏さん 東
- 千歳 初枝さん 福井
- 面野キヨ子さん 御波
- 早川 計邑さん 知々井
- 原田 友則さん 知々井
- 水上 光憲さん 知々井
- 竹本チヨ子さん 宇受賀
- 村越 弘さん 西
- 大上タキコさん 北分
- 86歳
- 69歳
- 95歳
- 48歳
- 56歳
- 78歳
- 89歳
- 60歳
- 69歳
- 94歳

紙上からお礼

- 善意のともじび
- 金一封 崎、多井会様
- 金一封 明 岩男様
- 海士町千本校実行委員会へ寄付金
- 金一封 近畿海士後鳥羽会様
- 金一封 海士中学校第3期卒業生 一同様
- 扇谷 美幸様 北分
- 山中 猛様 北分
- 真井善治郎様 尼崎市
- 保谷歌都子様 尼崎市
- 木綿 義和様 境港市
- 松林 久行様 東京都
- 河本 郁子様 大阪市
- 徳田かずみ様 大阪市

住在さんのコーナー

今年もあまのこへ お願いいたします。
昨年、全国的にオレオレ詐欺や架空請求などの悪質事案が多発しました。また、相次ぐ台風の上陸や地震などの大規模災害にも見舞われ、一年の世相を象徴する漢字に「災」が選ばれました。今年は一災一転じて福となり、安全で安心な一年となるよう祈っています。
代表漢字「災」を目標として努力いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。





地域で見守る

教育長 榊原 信也

輝かしい新春を迎え謹んで
ご祝詞を申し上げます。

昨年十月、少子化対策として「海士町すこやか子育て支援に関する条例」が制定されました。このことは、本町の未来を子どもたちに託したいという強い願いの表れであり、しかしながら、奈良県で起こった児童誘拐の悲劇や各地で頻発する連れ去り事件という、児童生徒の登下校の安全が取り沙汰される異常な事態は、離島である私たちの地域では起こりえないだろうと願いつつも、その対策には地域の皆様方が改めて子どもは地域の宝であるという認識を持つて見守っていただくことが、不測の事態を回避できる最も有効な抑止力だろうと思います。

輝かしい新春を迎え謹んで
ご祝詞を申し上げます。

れた反面、子ども達の対人関係の弱さや体力面での衰えが指摘され、それは都会の子も田舎の子も同様だと憂慮されています。このような時代だからこそ、私たちはふるさと
の自然や文化を守りながら、次代を担う子どもたちをふるさと
の自然や地域の中で、逞しく育てていかなければなりません。子どもたちの健やかな成長の環境作りは行政のみならず、学校、家庭、地域が一体となつて成果が期待できるものであります。教委がふるさと教育として取り組んでいるアドベンチャーキャンプやチャレンジ土曜クラブ、子どもの居場所づくり等の諸事業を昨年も多くの皆様方のご指導、ご協力を賜りながら進めることができました。心から感謝申し上げます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、高度情報化社会の到来は私たちに恩恵を与えてく

末筆ながら、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

勝とご多幸をお祈り申し上げます。

賞 賞
優 優
受 受

島のあしたは女性が開くをモットーに

中野 勝枝さん

12月4日島根県商工会連

合会主催の「しまね商工会女性部員の集い」島根県大会において、隠岐ブロック代表として中野勝枝さん(御波)が優秀賞を受賞されました。

この大会は、女性部活動と地域振興・まちづくりをテーマに県内6ブロックから発表が行われ、今回、中野さんは、『島のあしたは女性が開く』と題し、郷土民謡「キン

ニヤモニヤ」を活かしたPR活動や「海士町千本桜構想」にも積極的に参加し、また、それにちなみ「承久の千本桜」の作詞をする等の幅広い取り組みが、「まちおこし」に繋がりがりつつあると発表されたものです。今回の発表を通して中野さんは、『聴衆の方々が瞳輝かせ共鳴して下さっていることを身体

いっばいと感じながら発表



することができた。これからも更なるハードルを越えながら夢を追いつける挑戦が私の使命だと思っている。』と力強い言葉をいただきました。これからの益々のご活躍を期待致します。

新しい民生児童委員決まる

12月1日、民生委員、児童委員および主任児童委員に次の方々が厚生労働大臣から任命されました。(任期3年)

▼民生委員・児童委員

- 菱 浦 八幡喜久子さん
- 福 井 和多田良寛さん
- 西 直塚 治長さん
- 中 里 沼田 初枝さん
- 東 高木 輝二さん
- 北 分 大森 芳信さん
- 宇受賀 小前 勝房さん

▼主任児童委員

- 東 波多 章代さん
- また、多年にわたり本町社会福祉行政の推進に寄与され、今期をもってご退任される方々に厚生労働大臣および知事ならびに町長から感謝状と記念品が贈られました。

退任された方々

- 豊 田 山下 幸子さん
- 保々見 岡本 久子さん
- 知々井 水上 紀之さん
- 御 波 森井 一俊さん
- 多 井 道橋 幸男さん
- 崎 杵築 慶信さん
- 日須賀 松井由紀子さん
- 菱 浦 中畑 九丈さん
- 西 三浦 忠さん
- 中 里 田中 國子さん
- 北 分 新脇 成代さん
- 宇受賀 宇野 運治さん
- 豊 田 道根 一江さん
- 日須賀 佐藤 妙子さん
- 崎 河浜 洋江さん
- そして、主任児童委員として長年ご尽力いただきました八幡喜久子さん(菱浦)にも同様に感謝状と記念品が贈られました。
- 長い間ご苦労さまでした。